



伊藤 房代 議員



物価高騰対策について

問 ガソリンや食料品、電気・ガス等の値上がりに対し、

市として家計や中小企業へ負担軽減の支援策は考えているか。

答 物価高が続く中で、政府はガソリン等の燃料油の高騰

対策をまとめた上で、9月中には電気やガス料金への対応を含めた追加の経済対策を示すと報じられている。市としては、国から追加の交付金が見込まれる場合は、これまで交付金を活用し実施してきた経済対策を勘案し、生活者・事業者への支援策を検討したい。

通学路の安全対策について

問 駒込橋の欄干が老朽化し、さびて穴が空き危険な状態

だが、早急な対応はできないか。

答 当該橋梁については令和3年度に行った点検でも、欄

干等の修繕が必要であるとのことだったので、現在、修繕工事の実施に向けて駒込堰を所管する関東

農政局等の関係機関と工事方法等の協議を進めているが、時間を要している。欄干の老朽化がかなり進んでいる状況なので、早急に工事を実施できるよう、さらに準備を進めていきたい。

問 国道126号沿いにあるば

りる道路で、県道をまたぐ井戸野大根川交差点付近までの南北線の道路の段差が激しく、舗装のやり直しはできないか。

答 道路パトロール等により当該路線の舗装ひび割れが進行していることを確認し、令和3

年度から舗装修繕工事を実施している。令和5年度は富浦小学校北西側付近の約320mの区間で修繕工事を実施し、今年度までに約1・6kmの修繕工事を完了。次年度以降も継続して、舗装が大きくひび割れる等状態が悪い箇所から修繕工事を予定している。

その他の質問事項

○学校給食費の完全無償化について

○防犯カメラの設置について

○ドライブレコーダーの設置について

○冷水機の設置について

○次亜塩素酸水生成器の導入について

河川・水路の外來植物対策について

問 市内のナガエツルノゲイトウやチクゴスズメノヒエ等の外來植物等の繁殖状況は。

答 市内を調査したところナガ

エツルノゲイトウは、秋田川やその他の農業用水路、新川の揚水機場で確認された。チクゴスズメノヒエの確認は取れなかったが、類似のシマスズメノヒエは、市内の広範囲で確認された。



秋田川上流部のナガエツルノゲイトウ(令和5年7月撮影)

問 防除対策として除草剤の使用は有効であるか。また、

駆除に対して市の補助はあるか。

答 河川や水路へは水生生物等への影響が懸念されるため、

除草剤は使用できない。重機や手作業による除去が一般的となっている。なお、外來植物駆除に関する市の補助は現在のところない。

公有財産の適正な管理と運用について

問 干潟地域の普通財産と行政財産の状況について、台帳

上どのくらいあるのか。また、干潟公民館等の跡地利用は。

答 行政財産の土地が32万73

万8119㎡。干潟公民館の跡地は、ひかた市民センターの駐車場、農村環境改善センター跡地は、古城保育所の駐車場、旧第三学校給食センター跡地は、地元消防団の消防庫と干潟中学校用地として使用している。

問 干潟地域の集会施設の過去3年の利用状況は。

答 萬歳地区多目的研修セン

ターは、令和2年度が714人、令和3年度が617人、令和4年度が653人、萬力のコミュニティセンターは、令和2年度が1420人、令和3年度が1261人、令和4年度が1503人、入野のふれあいセンターは、令和2年度が1772人、令和3年度が1244人、令和4年度が1435人。



遠藤 保明 議員

